

## 方程式

名前

## 等式の性質

- ①等式の両辺に同じ数を足しても、等式は成り立つ。  $A=B$  ならば  $A+C=B+C$
- ②等式の両辺から同じ数を引いても、等式は成り立つ。  $A=B$  ならば  $A-C=B-C$
- ③等式の両辺に同じ数をかけても、等式は成り立つ。  $A=B$  ならば  $AC=BC$
- ④等式の両辺を同じ数でわっても、等式は成り立つ。  $A=B$  ならば  $\frac{A}{C} = \frac{B}{C}$   
( $C$  は 0 ではない)
- ⑤等式の両辺を入れかえても、等式は成り立つ。  $A=B$  ならば  $B=C$

## I 等式の性質を使って、方程式を解きましょう。

(1)  $x + 7 = 12$

(2)  $4x = 24$

(3)  $x - 3 = 4$

(4)  $\frac{x}{8} = 2$

## 移項

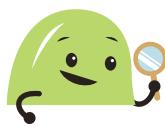
等式の一方にある項を、その符号を変えて他方の辺に移すことができる。

$$A + a = B \rightarrow A = B - a$$

## 2 移項を使って、方程式を解きましょう。

(1)  $x - 6 = -2$

(2)  $x + 8 = 1$



2

## 方程式

名前

1 次の方程式を解きましょう。

(1)  $3x - 1 = 14$

(2)  $5x + 9 = 44$

(3)  $-4x + 2 = 30$

(4)  $2x - 5 = -6x + 11$

## 比例式の性質

比例式：比が等しいことを表した式  $A : B = C : D$ 内項の積と外項の積は等しくなります。 $A : B = C : D$  ならば、 $BC = AD$ 

## 比の値

 $a : b$  の比の値は、 $a$  が  $b$  の何倍になっているかを表します。 $a : b$  の比の値は  $\frac{a}{b}$ 

2 次の比例式を解きましょう。

(1)  $x : 3 = 8 : 12$

(2)  $4 : 5 = (x - 1) : 3$